

2026年4月（第1版）

器 25 医療用鏡
 一般医療機器 内視鏡用軟性把持鉗子（35524000）
ディスポーザブル把持鉗子 AL

再使用禁止

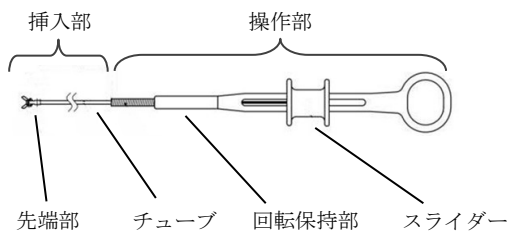
【禁忌・禁止】

<使用方法>

1. 再使用禁止
2. 内視鏡の角度を掛けた状態で本品を引き抜かないこと。
 [本品のカップからはずれるおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



先端部を回転できるタイプと回転できないタイプがある。

2. 先端部形状
 (代表的写真)

有鉤鱗口



3. 先端部形状と挿入部有効長および最大径の組合せ表

先端部形状	製品番号	挿入部有効長 (mm)		挿入部最大径 (mm)	
		1600	2300	1.8	2.4
有鉤鱗口	AF-D2423GJR-C		○		○

<原材料>

ステンレス鋼、ポリエチレン

<原理>

スライダーを押すと先端部が開き、引くと先端部が閉じる。目的の異物を開いた先端部に捕捉することにより把持し、回収する。

【使用目的又は効果】

本品は内視鏡とともに使用し、組織又は異物の把持、回収に用いる。

【使用方法等】

1. 準備

滅菌パックの点検、本品の外観の点検、作動の点検をする。

2. 使用方法例

- 1) 併用する内視鏡などの内視鏡チャンネルより本品の先端部を閉じたまま挿入し、目的部位へ誘導する。
- 2) 先端部が回転できるタイプは、必要に応じて、回転保持部を把持しながら先端部を回転させる。
- 3) 内視鏡下で観察しながら異物の把持を行う。
- 4) 使用後は適切に廃棄する。

<組み合わせて使用する医療機器>

本品と組み合わせて使用可能な医療機器は以下である。

本品の挿入部最大径 (mm)	併用する内視鏡のチャンネル最小径 (mm)
1.8	2.0
2.4	2.8

<使用方法に関連する使用上の注意>

1. 先端部を閉じるためにスライダーを動かすこと。本品の先端部を閉じた状態で内視鏡チャンネルに本品を入れること。
2. 本品が術野に現れるまで本品の先端部を閉じて内視鏡チャンネル内をゆっくり進めること。
3. 抵抗に反して本品を挿入しないこと。本品を内視鏡チャンネルに挿入するため角度の曲げを少なくすること。
4. 除去する組織や異物の部位まで、本品を導き、スライダーを動かして先端部を開き除去される組織等を掴むこと。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 代替品を用意しておくこと。
2. 本品に過度の力をかけないこと。また本品の挿入部が曲がっていないことを確認すること。
3. 本品を内視鏡チャンネル内に挿入している際、抵抗を感じたら内視鏡の角度をできるかぎりまっすぐにする。万一、先端部を十分に閉じることができない場合には、本品を内視鏡と一緒に抜去すること。
4. 本品を内視鏡に挿入する際は、スライダーを動かさないように保持すること。
5. 本品を内視鏡からゆっくりと引き抜くこと。

<不具合・有害事象>

1. その他の不具合
 本品の破損、変形
2. 重大な有害事象
 破損片の体内遺残、感染、穿孔、大出血
3. その他の有害事象
 組織・皮膚の炎症、裂傷、粘膜損傷

【保管方法及び使用期間等】

<保管・貯蔵方法>

直射日光を避け、医療機関における滅菌済み医療機器の保管方法に従い、保管すること。

<有効期間>

使用期限は製品の包装に表示されている。使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**製造販売業者**

株式会社アダチ

大阪府大阪市中央区内平野町3丁目2番10号

TEL：06-6942-3371

製造業者

Alton (Shanghai) Medical Instrument Co., Ltd

(アルトン (シャンハイ) メディカル インストゥルメント社)

国名：中華人民共和国